

財政収支(1-2月)

(1) 1-2月の歳入は前年同期比42.2%増、税収は同49.2%増。歳出は前年同期比43.3%増。
(2) 結果として1-2月の財政収支は4,493.51億リラの赤字(前年同期比47.6%増)、プライマリーバランスは1,466.44億リラの赤字(同14.0%増)。

データ:財務省 単位:億リラ

歳入・歳出内訳	2024年1-2月(A)	2025年1-2月(B)	増加率 ((B-A)/A)
歳入(a)	11,533.56	16,405.08	42.2%
税収	9,234.92	13,776.25	49.2%
所得税	1,723.50	3,288.51	90.8%
法人税	232.15	189.02	▲18.6%
付加価値税(国内及び輸入)	3,641.96	4,826.09	32.5%
特別消費税	1,865.57	2,610.36	39.9%
その他税収	1,771.74	2,862.27	61.6%
税外収入等	2,298.64	2,628.83	14.4%
歳出(b)	14,578.73	20,898.59	43.3%
人件費	4,603.79	6,384.21	38.7%
物品及びサービスの購入	699.16	1,064.52	52.3%
経常移転	5,789.51	8,095.02	39.8%
資本支出	507.96	934.57	84.0%
支払利子(c)	1,759.23	3,027.07	72.1%
その他歳出	1,219.08	1,393.20	14.3%
財政収支(a-b)	▲ 3,045.17	▲ 4,493.51	▲47.6%
基礎的財政収支(a-(b-c))	▲ 1,285.94	▲ 1,466.44	▲14.0%

経常収支(1月)

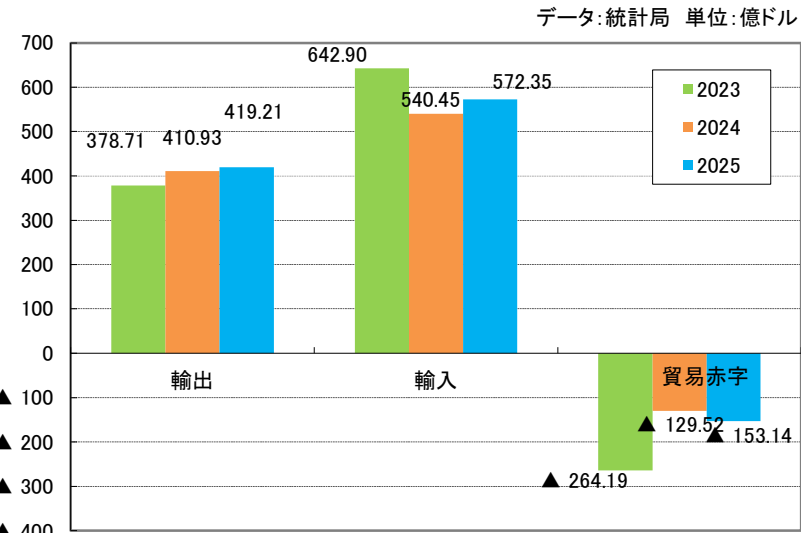
(1) 1月の経常収支は、37.95億ドルの赤字(前年同月は22.77億ドルの赤字)。
(2) 1月の貿易収支(物品)は55.58億ドルの赤字で前年同月から赤字幅増加、旅行収支は23.81億ドルの黒字で前年同月から黒字幅減少。

データ:中央銀行 単位:億ドル

内訳	2024年1月(A)	2025年1月(B)	増加率 ((B-A)/A)
経常収支	▲ 22.77	▲ 37.95	▲ 66.7%
貿易収支(物品)	▲ 43.51	▲ 55.58	▲ 27.7%
サービス収支	31.28	30.82	▲ 1.5%
旅行収支	24.04	23.81	▲ 1.0%
第1次所得収支	▲ 8.97	▲ 11.91	▲ 32.8%
第2次所得収支	▲ 1.57	▲ 1.28	18.5%
労働者送金	0.08	0.05	▲ 37.5%
資本移転等収支	0.32	0.48	50.0%
金融収支	▲ 17.91	▲ 53.38	▲ 198.0%
直接投資	▲ 6.08	▲ 5.04	17.1%
証券投資	▲ 2.26	▲ 21.82	▲ 865.5%
その他投資	52.50	▲ 90.82	▲ 273.0%
外貨準備	▲ 62.07	64.30	203.6%
誤差脱漏	4.54	▲ 15.91	▲ 450.4%

貿易収支(1-2月)

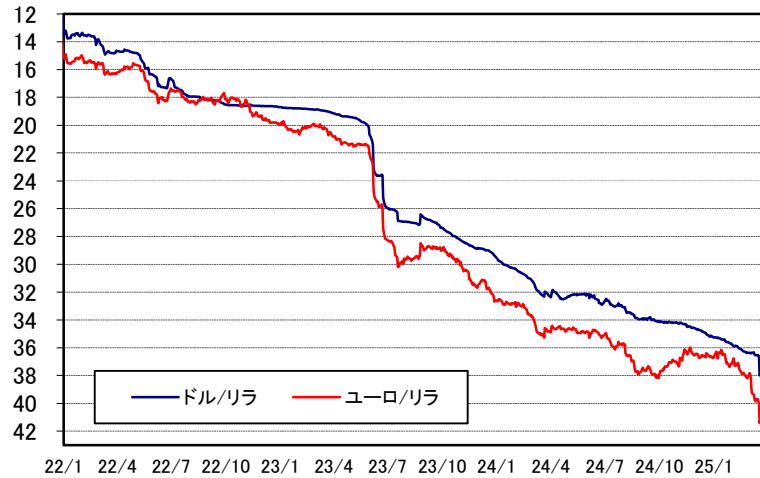
(1) 1-2月の輸出額は419.21億ドル(前年同期比2.0%増)、輸入額は572.35億ドル(同5.9%増)となり、この結果、貿易収支は153.14億ドルの赤字(同18.2%赤字幅拡大)となった。
(2) 1-2月の輸出額におけるEU向けの割合は42.5%(前年同期は41.8%)、輸入額におけるEUからの割合は27.7%(前年同期は31.8%)となっている。



為替(3月)

3月19日のイマムオール・イスタンブール市長の逮捕により、これまで継続していたオーソドックスな経済政策の変更が意識され、リラは対ドル及び対ユーロで減価した。月末時点では1ドル=37.77リラ(前月末比3.81%安)、1ユーロ=40.70リラ(同7.61%安)となった。

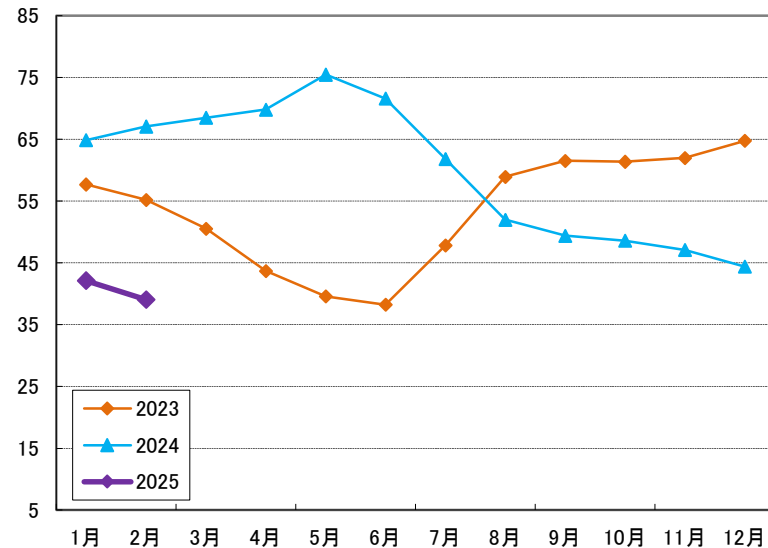
データ: 中央銀行 単位: リラ



消費者物価上昇率(2月)

(1) 2月の消費者物価は前年同月比39.05%、前月比2.27%。
 (2) 項目別にみると、前年同月比では教育が94.90%となり最も上昇した。前月比においても教育が9.92%となり最も上昇した。
 (3) 国内生産者物価指数(2月)は前年同月比20.08%増、前月比2.05%増となった。

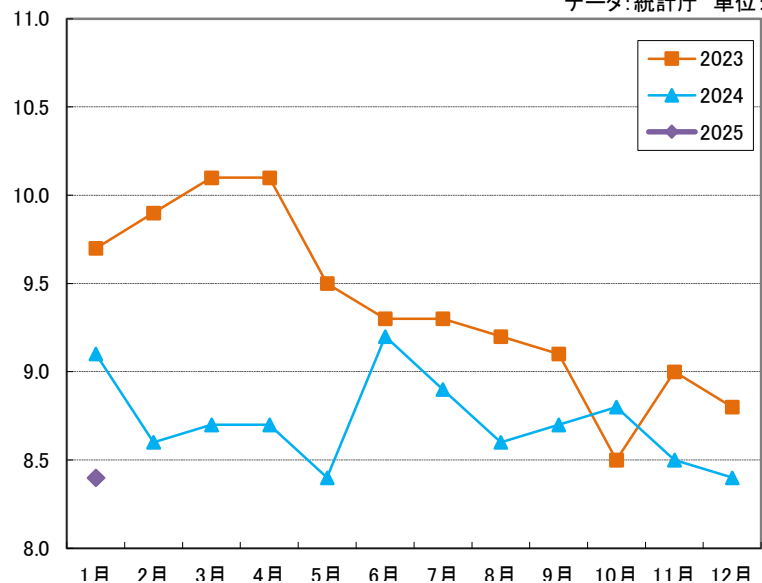
データ: 統計庁 単位: 前年同月比(%)



失業率(1月)

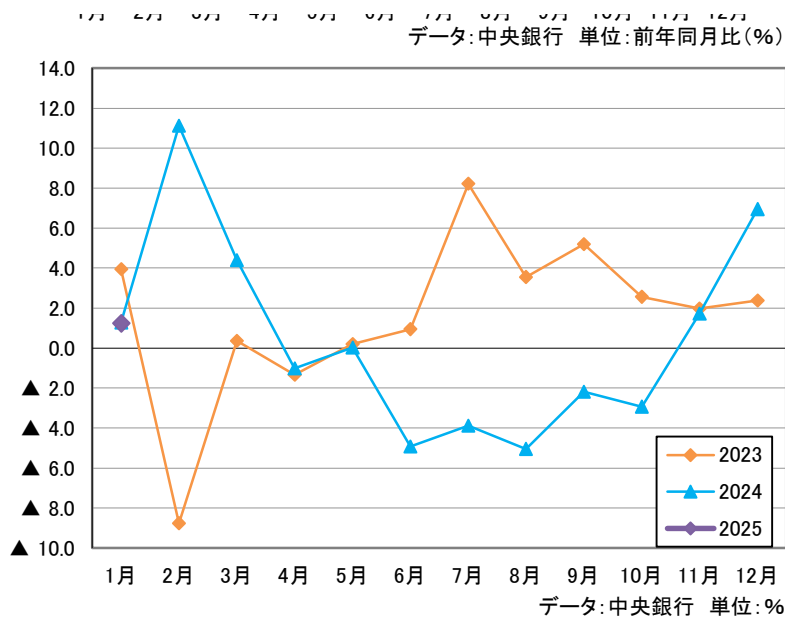
(1) 1月の失業率(季節調整後)は8.4%となり、前月から変化なし。
 (2) 労働力人口は3,553.4万人、就労者数は3,253.1万人、失業者数は300.2万人。
 (3) 男性の失業率は6.5%、女性は12.1%。若年層(15-24歳)の失業率は14.9%となっている。

データ: 統計庁 単位: %



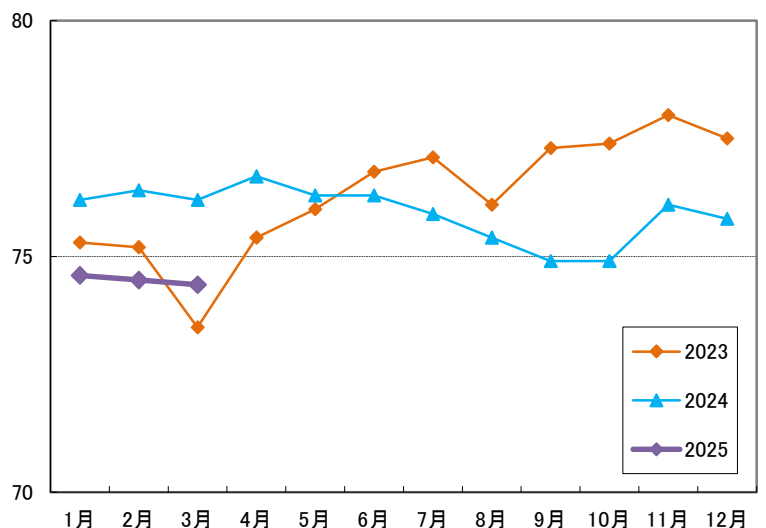
鉱工業生産(1月)

(1)1月の鉱工業生産指数は、前年同月比(日数調整後)1.2%増。
(2)分野別では、耐久消費財が前年同月比6.3%増、資本財が同2.1%増、中間財が同0.8%増となった。



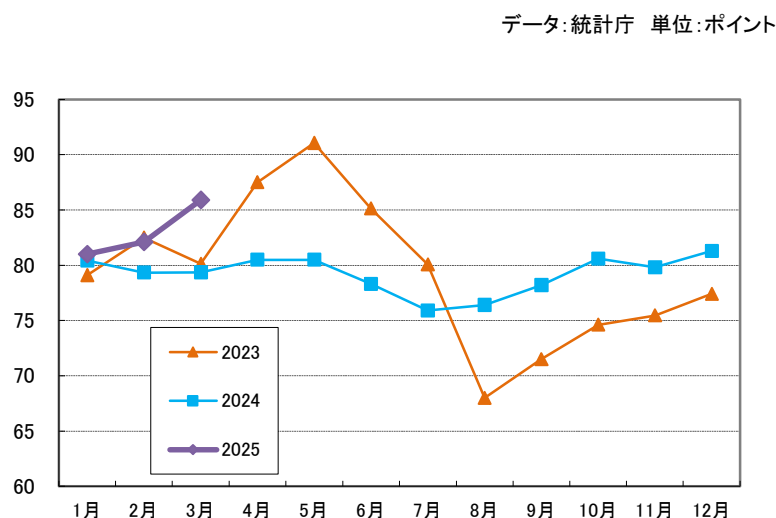
設備稼働率(3月)

(1)3月の設備稼働率は74.4%となり、前年同月から1.8ポイント低下。前月から0.1ポイント低下。
(2)製造業の分野別では、紙・紙加工品製造業(84.0%)が最も稼働率が高く、皮革及び関連製品製造業(61.2%)が最も低い稼働率であった。



消費者信頼感指数(3月)

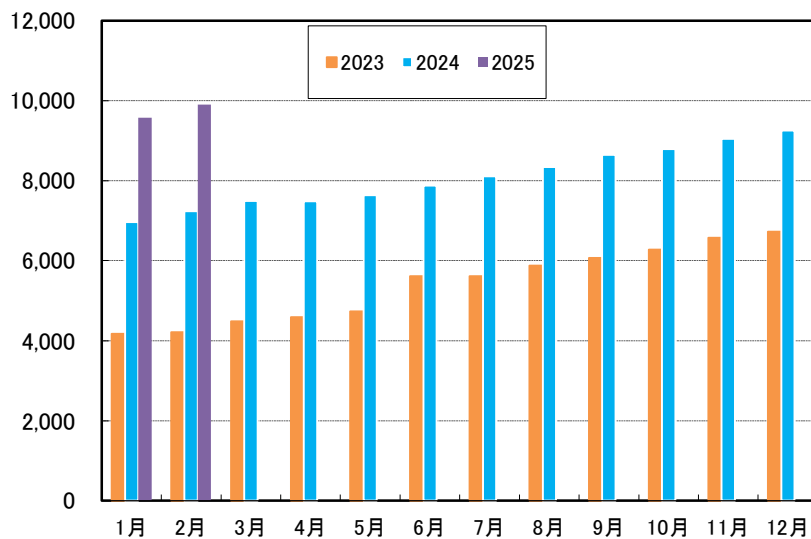
(1)3月の消費者信頼感指数(季節調整値)は85.9ポイントとなり、前月から3.8ポイント上昇。
(2)内訳では、「現在の家計の財政状況」、「今後12か月間の家計の財政状況見通し」、「今後12か月間の一般経済状況見通し」及び「今後12か月間の耐久消費財への支出見通し」は前月から上昇。



中央政府債務残高(2月)

(1)2月末時点での中央政府債務残高は9兆9,096億リラとなり、前年同月比36.9%増、前月比3.4%増となった。
 (2)また、国内債務比率は55.2%、自国通貨債務比率は45.3%(2024年末は43.9%)となっている。
 (3)なお、債務残高のうち円は0.5%で、外貨ではドル、ユーロに次ぐ地位を占めている。

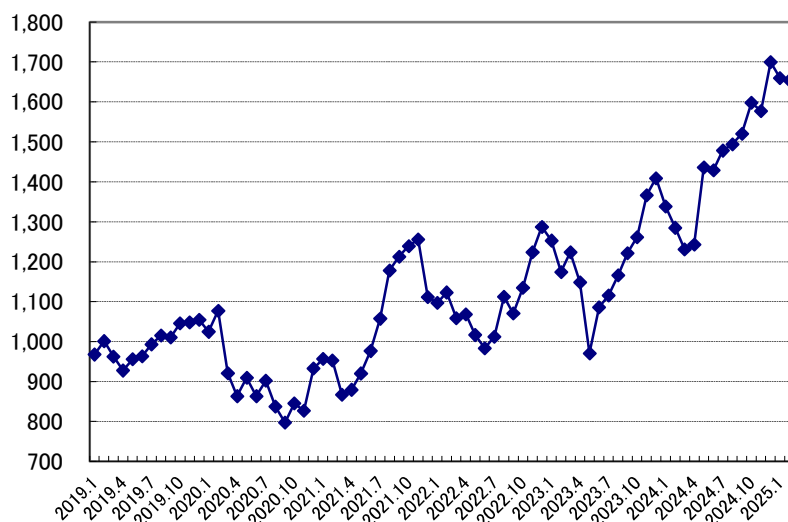
データ:財務省 単位:10億リラ



外貨準備高(2月)

(1)2月末時点での中央銀行の外貨準備高(金を含む)は1,654.17億ドルとなった。
 (2)前月から5.57億ドル減少した。

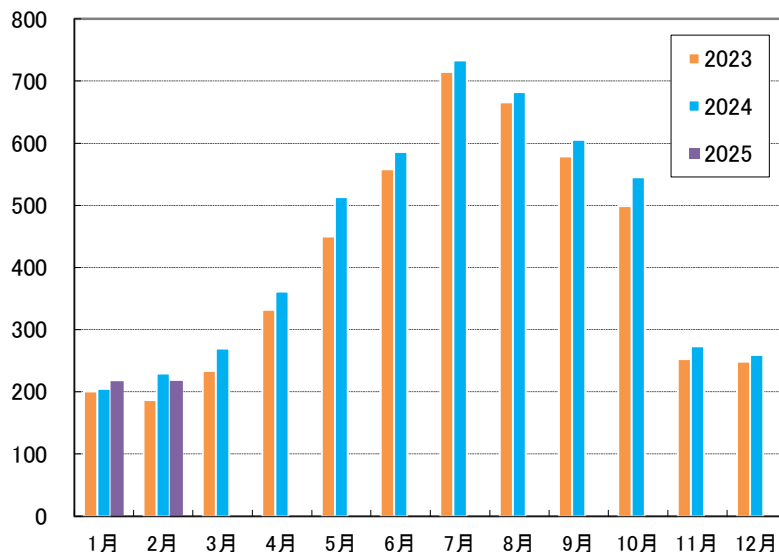
データ:中銀 単位:億ドル



外国人訪問者数(2月)

(1)2月の外国人訪問者数は2,171,942人で、前年同月比5.34%減。日本は13,191人であった(前年同月は8,204人)。
 (2)国別ではイランが最も多く、223,222人で全体の10.28%を占め、以下、ドイツ(179,512人)、ロシア(167,611人)となっている。

データ:文化観光省 単位:万人

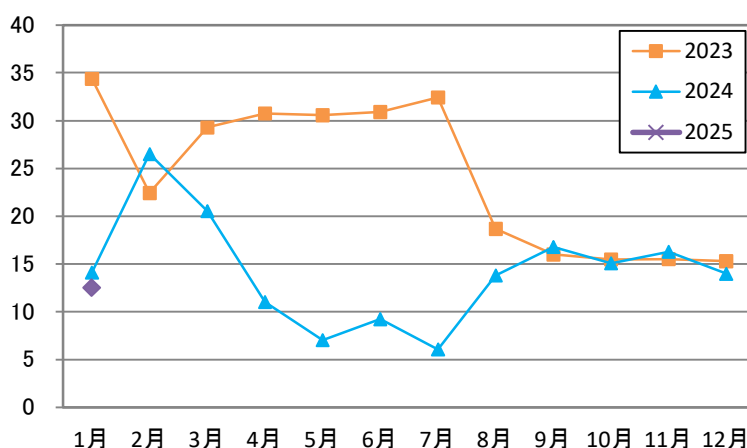


小売売上高(1月)

(1)1月の小売売上高は前年同月比(日数調整後)12.5%増、前月比(季節及び日数調整後)2.0%増。

(2)内訳は食品・飲料・タバコが前年同月比10.2%増、情報・通信機器が同32.2%増となった。

データ:統計庁 単位:前年同月比(%)

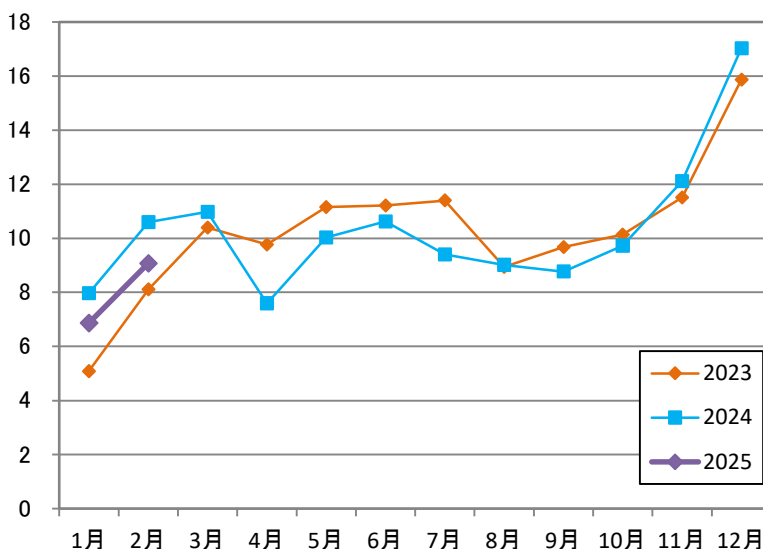


新車販売台数(2月)

(1)2月の新車販売台数は90,730台で前年同月比14.40%減。

(2)2月の内訳は乗用車が76,021台(前年同月比7.6%減)、小型商用車が14,709台(同38.0%減)となった。

データ:自動車販売協会 単位:万台



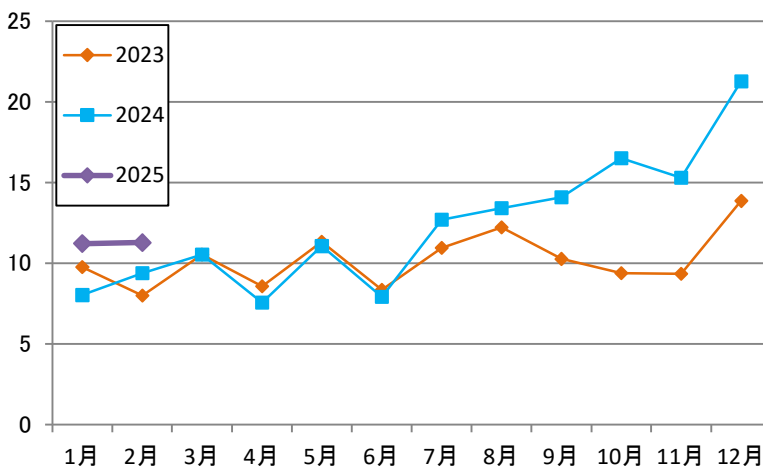
住宅販売戸数(2月)

(1)2月の住宅販売戸数は112,818戸で前年同月比20.1%増となった。

(2)2月は新築が33,784戸(前年同月比18.2%増)、中古が79,034戸(同21.0%増)。

(3)2月の住宅ローンでの購入は16,778戸(前年同月比90.1%増)、その他が96,040戸(同12.9%増)。

データ:統計庁 単位:万戸



※本資料は、当館がトルコ政府発表資料を取り纏めた参考資料であり、当館がその正確性等を保証するものではありません。